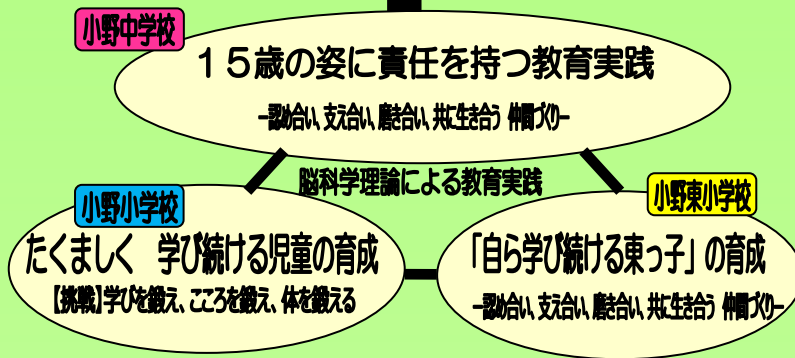


小野中学校区一貫校

一貫校教育目標

9年間を通してめざす子ども像
**「人として あたたく
 かしこく つよく
 共に生き合う」**



めざす子ども像

- よく考える子
- 相手の気持ちを考え、行動する子
- 明るく元気な子
- 自ら考え、共に高め合い学び続ける子
- 思いやりと規範意識をもつ子
- 自ら挑戦し、たくましい心身を培う子

教育課程の基本的な方針

基本理念としては、県教育振興計画にある「兵庫が育むこころ豊かで自立した人づくり」と市教育振興計画にある「国際社会の中でたくましく活躍できる心豊かで自立した人づくり」の具現化、学習指導要領の理念と内容の表現を目指した小中一貫教育の推進、9 か年を見通した系統性・連続性のある教育課程の編成と知・徳・体を磨く教育活動を展開する。さらに、脳科学の知見を生かした4・3・2 システムを導入する。これらにより、さらなる学力向上、一貫した生徒指導の充実、中1ギャップの解消を目指す。

I 期 1~4年 【養成期】

○基礎基本の学力の土台となる学習規律を1年生から丁寧に、定着するまで指導する。
 ○家庭学習の習慣を身につけさせ、計画的に学習に取り組む態度を育てる。
 ○集団生活を送る上での基本的な生活習慣を繰り返し指導し、人との関わり方を身につけさせる。
 ○元気な心と体をつくるために、体を動かす楽しさを味わわせる。

II 期 5~7年 【活用期】

○真剣に授業に向かう態度を身につけさせ、定着した基礎学力を活用して、課題解決力を伸ばせるように指導する。
 ○前期に学んだ基本的な生活ルールやマナーを自分のものとして生活が送れるように、規範意識を徹底させる。
 ○健やかな心と体をつくるために、ねらいをもって運動する態度を身につけさせる。

III 期 8・9年 【発展期】

○基礎基本の学力を基に、自ら進んで課題を見つけ解決する力を伸ばすと共に、より学力を伸ばすための思考力や表現力などを身につけさせる。
 ○自ら進んで生活規律を守り、よりよい学校を築いていこうとする態度や自律と自立に基づいた行動がとれる力を身につけさせる。
 ○強い心と体をつくるために、体力増進や自己健康管理ができる力を身につけさせる。

具体的な取組み

学力向上・指導力向上

- 義務教育9年間の一貫した系統的・連続性のある指導（カリキュラム）
- 4・3・2制による教育システム
- 5年生からの教科担任制
- 1年生からの英語活動（ALT）
- 「おの検定」を活用した基礎学力の定着
- 異年齢集団による交流活動
- 出前授業、参観授業による教師交流
- 放課後補充学習
- 3校合同研修会（年間3回）、分科会
- カリキュラムマネジメントの実施
- 講師招聘による研究授業、授業力向上
- クロームブックを活用した授業・話し合い活動の推進
- 授業モデルの交流、教師間交流
- 9か年の「家庭学習の手引き」の活用

生徒指導の連続性

- 一貫した生活・生徒指導
 「生活のきまり」「校外生活のきまり」
- 9か年で育むリーダーシップ
- 生徒指導、特別支援教育、教育相談の包括的実践（引き継ぎシートの統一・活用）
- 発達段階に応じた携帯・スマホの上手な使い方指導
- 自主的児童会・生徒会の運営
- 無言清掃、自問清掃
- ユニバーサルデザインを意識した集団指導
- 保幼小連絡会、小中連絡会によるきめ細かな情報交換

中1ギャップの解消・自立へ

I 期 【養成期】

1年生 2年生 3年生 4年生

学びの基礎・基本の定着を図り、課題解決力の基礎を養い、基本的な生活習慣を身につける。

【体験活動、おの検定、環境体験、外国語活動等】

II 期 【活用期】

5年生 6年生 7年生

学びの基礎基本を活用し、課題解決力を伸ばし、規範意識を高める。

【教科担任制、授業スタイルの共有、キャリア教育等】

III 期 【発展期】

8年生 9年生

学びの基礎・基本を活用し、課題解決力や表現力を伸ばし、社会性を高める。

【生徒会活動、一日体験授業、進路指導等】

